

14 埋立工事後の水俣湾

【今の水俣の海は、どうなってるの？】

工事の終了後、水俣湾の魚に含まれる水銀はだんだん少なくなりました。1997年（平成9）、熊本県は「水俣湾の魚介類は安全である」と宣言し、水俣湾の入り口に設置していた仕切網をすべて取りはらいました。

そして、漁業も再開され、水俣湾の魚を釣って食べたり、泳いだりすることもできるようになり、サンゴの生息が確認されるほどきれいな海になりました。

今も、水俣湾の魚や海水に含まれる水銀について調査を続けていますが、安全であることが確認されています。

